令和５年度第３回(通算 123 回)歩こう会

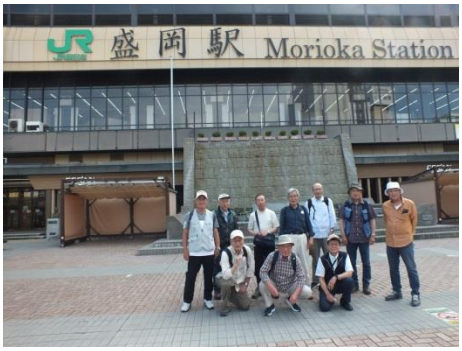
盛岡歴史巡りとチャグチャグ馬コウォーク開催記

記　歩こう会幹事　萩原鉄雄さん

開催日　2023 年６月 10 日

場所　　盛岡市　　参加者　１１名

６月の歩こう会は、ニューヨークタイムスが発表した「2023 年に行くべき 52 ヶ所」のなかで世界的な大都市ロンドンに次いで２番目に紹介された岩手県盛岡市を岩手ブロック会員皆様の全面的なご協力をいただき毎年６月の第２土曜日に開催される**（チャグチャグ馬コ）**の行事に合わせて有意義な一日を歩きました。



盛岡駅で岩手の皆さんと合流

仙台駅前高速バスセンター8 時発のバス。
晴天の中 2 時間 30 分の走行ののち盛岡駅西口に到着しました。
バス停にて岩手ブロック会員皆様と合流。
バスの中よりみる西口は都市化により約５０年前に勤務していた当時の田園地帯の面影はなくすつかり様変わりしていました。
各業種の量販店が軒を並べて営業して賑わっており旧市内の商業地の中心地が西口に移ったと感じました。

石川啄木新婚時代の住い

今回歩いた主なところは次のようなところです。
盛岡駅東口を出ると、数百メートル先は北上川に架橋された開運橋につきます。
1km 位下流で中津川と雫石川が合流して宮城県石巻市河口まで続いています。
開運橋下の北上川沿いに「啄木であい道」と名付けられた遊歩道が上流の夕顔瀬橋まであります。
北上側の流れを見ながら中間の旭橋まで歩いたのち一般道より橋をわたり石川啄木歌碑・宮澤賢治詩碑を見ながら中央通りの**「啄木新婚の家」**平屋の 7 部屋もある大きな家です。新婚生活にしては大きすぎるのでは感じましたが、両親と妹と 5 人家族で生活をしていたとのことです。

盛岡地方裁判所　石割桜

天然記念物**「石割桜」**は盛岡地方裁判所の敷地内の巨大な花崗岩の割れ目より伸びているヒガン桜です。
樹齢は 300 年以上言われ市民より守り育てられています。

歴史的建造物の**「紺屋町番屋」**は昔懐かしい望楼のある消防団番屋です。
大正期に建築されましたが、今も現役の消防団屯所として利用されています。
同じ町内にある「ござく森九商店」は豪商の面影を今に伝える商家です。
今は見ることも少ない藁工品や竹製品の数々が店いっぱいに展示販売されていました。仙台には同様な製品を主力の店はないようです。

紺屋町　番屋

「岩手銀行中ノ橋支店」は赤煉瓦造りの緑にドームは市街地の中心部に位置し中津川と中の橋と一体になって盛岡の観光をささえています。
入館料は無料です。　外観は東京駅に似ています。
東京駅の設計者が建築したもので竣工１１４年目を迎えています。
建物内部では祭りにあわせて「チャリティクラフト市」が開催されていました。３５の出店がそれぞれの品を展示販売しており老若のご婦人で賑わっていました。　チャリティ作品の売り上げはすべて東日本大震災復興支援へ寄付致しますと表示されていました。

岩手銀行　中ノ橋支店

盛岡歴史文化館ＨＰより

展示の馬コと？？？

中津川の中の橋を渡り盛岡城跡公園敷地に建てられた**「もりおか歴史文化館」**は盛岡の祭りや観光情報の紹介をしています。
祭り常設展示室では「チャグチャグ馬コ」と「盛岡さんさ踊り」の映像を観ました。またチャグチャグ馬コの１頭も展示していました。
山車展示ホールでは明治時代と現代の山車各 1 台が展示されています。盛岡八幡宮の秋まつりには街をねり歩くそうです。その他町なか情報センターやミュウジアムショップなどがありました。

行列の通過時間もまじかになりましたので 櫻山神社前にて行列を待つことにし一休み。
盛岡城址公園に盛岡城(別名不来方城)を復元する盛岡市にあり、資料を募集しています。
城は明治７年に取り壊されました。盛岡城を撮影した写真は１枚しか確認されておりません。
懸賞金最高 1000 万円で写真や設計図・平面図等城に関係のある資料をお持ちでしたら応募してみてはいかがですか。自宅にも盛岡城に関する貴重な史資料が眠っているかもしれませんよ。公園は行列が到着してないため多数の人々が散歩などをしていました。

９時３０分にタキザワ市の鬼越蒼前神社を出発して４時間３０分経過後の１３時３０分にチャグチャグ馬コの行列が見えました。今までは１００頭近い装束馬が各自着飾り鈴の音をチャグチャグと響かせながら市内を進んでいましたが、今年はコロナと農作業の機械化で年々愛馬も少なくなって５０頭余との発表 馬についている装束の模様や鈴の数などは行進する馬ごとに違っていました。

馬上には幼児から小学生低学年の男女が騎上にて手を振って観客にこたえていました。
なかには疲れて眠ってしまった幼児も見受けられました。
太陽を浴びて暑いところ頑張っているのに感動しました。
「チャグチャグ馬コ」は約 200 年の伝統をもつ南部駒の馬の祭りです。毎年 6 月の第 2 土曜日に無病息災を祈願したのち着飾った愛馬をひいて参詣し、盛岡八幡宮までの 15 ㎞の道程を 4 時間余かけて行進する行事です。昭和 53 年無形民俗文化財に指定されています。

チャグチャグ馬コは、岩手県滝沢市と盛岡市において毎年 6 月の第 2 土曜日に実施される祭り。
滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡市の盛岡八幡宮まで、華やかな馬具を纏った馬を連れて進行する。
1978 年に選択無形民俗文化財に選択され、チャグチャグ馬コの鈴の音は、
1996 年に環境省の「残したい日本の音風景 100 選」に選出された。
古来より、牛とともに農耕にかかせない家畜であった馬の勤労を感謝する祭りで、大型の優秀な馬「南部駒」の産地として知られる南部藩において日頃の労働の感謝の意味を込めて旧暦の 5 月 5 日に村民が鬼越蒼前神社に馬の無病息災を祈願したのがチャグチャグ馬コの起源とされている。

1934 年撮影

百頭を超える馬が滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡八幡宮までの約 15 キロメートルの距離を鈴の音を響かせながら 4 時間かけて練り歩く。
馬のあでやかな飾り付けとたくさんの鈴が特徴で、歩くたびにチャグチャグと鳴る鈴の音が名称の由来といわれている。小学生の子供が馬の乗り手としてパレードに参加する。長い行程で疲れてしまい、居眠りをする子供もよく見られる。

≡ ウィキペディア フリー百科事典

行列を見送ったあとの食事は盛岡を代表するグルメ「わんこそば」「盛岡冷麺」「じゃじゃ麺」とそれぞれ特徴のある中「盛岡冷麺」を選びました。　駅前の、ぴょんぴょん舎に入店。
中辛・激辛・超激辛の 3 種のなかよりそれぞれ好みの辛さを注文しました。中辛以外は食べるコツとして別皿に盛られたキムチなどを好みの辛さにして食べるようです。
市内でまだまだ見る処はありましたが 15 時 40 分の発のバス時間にあわせてのウォークとなりました。
最後に盛岡駅の売店でお土産を購入したのちバスに乗車事故もなく無事仙台に帰りました。
最後になりましたが、一日案内をしていただいた岩手ブロックの会員の皆様有難うございました。